

令和3年度【第2回】島根県県民いきいき活動促進委員会 【議事要旨】

日時:令和4年3月15日(火)

13:15~14:45

場所:県庁6階講堂

出席状況

○委員(出席 14名)

金野委員長、猿渡副委員長、小倉副委員長、岸委員、原田委員、若菜委員、中野委員、青戸委員、野々村委員、福間委員、河井委員、森山委員、石橋委員(オンライン)、藤田委員(オンライン)

○事務局(5名)

竹内部長、曾田室長、松近企画幹、岩成主事、土江主事

1. 開会

2. あいさつ 竹内環境生活部

3. 報告事項

以下の内容について、書面による報告

(1)令和3年度NPO活動推進室事業概要について

(2)令和4年度事業の概要について

4. その他(委員長の改選について)

金野委員長から辞任の申し出があったため、委員から推薦のあった小倉委員を全会一致で委員長として選出した。

【委員発言 検討課題・アドバイス等・】

<協働推進員研修に関して>

- ・県職員のみ受講に留まらず、市町村やNPO団体等にも積極的に研修の周知、参加の呼びかけをした方が良い。
- ・なるべく多くの県職員が参加できるように、研修の開催時期の見直しが必要。

<クラウドファンディング事業・いきいき広場に関して>

- ・いきいき広場の活動報告機能をもっと活用していくべき。
- ・団体が、クラウドファンディング事業に参加しやすいように寄附者へのお礼の仕方などに関して工夫を行う必要がある。

<その他>

- ・基金の寄附に関して、税理士に協力を依頼してみてもは。基金の活用の幅を広げられると思う。
- ・事業報告書未提出法人に対しては対応を行うべき。
- ・財団主催のファンドレイジングセミナーで、基金とリンクした研修が出来たら良い。
- ・基金の情報発信を積極的に行う必要がある。

4. いきいき活動実践者等からの現状説明及び意見交換

【いきいき活動実践者、主な意見】

- ・今年度グッドガバナンス認証を取得した。今後も県内のNPOの発展に寄与していきたい。
- ・災害ボランティア会議などで当団体の事業の周知や、ボランティアセンターの設置などについて協力いただき感謝する。
- ・NPO法人終活セミナーの勉強会を開いた。松江市長と対談を行う機会も設けていただき、次期総合計画の策定に「協働」について盛り込まれるように働きかけた。
- ・県内のNPO法人に対してアンケートを行った。全体の4割程度の団体に回答していただき、現在データを分析中。NPO法人に関する情報を提供していけたらいいなと思っている。
- ・事業報告書や決算書が整理できていない団体が増えてきている。NPO法人はガバナンスがしっかりしていることが求められているため、重要なことである。ガバナンスがしっかりしていない団体や、事業報告書が未提出の法人に対しては、監事に働きかけるのが良いと思う。監事に関する研修も行ったが、定期開催する必要があると思う。
- ・企業も、事業以外で地域貢献したい、関わっていききたいと思っているため、積極的に情報発信をすることが大切である。さらに、学生が何かできることはないかと働きかけるケースがコロナ禍になって急増。コロナは悪い効果ばかりでなく、良い効果も生んでいることがわかった。
- ・中小企業の支援を行ってきた。具体的には、島根のいいもの販路拡大事業という食品に特化した事業を行い、いくつかの商品をセット販売したところ、無事600セットが完売した。
- ・NPO法人は行政の手の届かないところに対しての支援を行っていただいているため、地域創生には欠かせない存在である。町では広報誌などを使って情報発信を今後も続けていきたいと思っている。
- ・シニア向け情報紙「しまねスマイル days」を県、山陰中央新報、県社協の三者で発信している。高齢の方を対象とした学びの場(学園)を提供。現在学園生の公募を開始する予定。
- ・ファンドレイジングセミナーを開催。今後は基金とリンクした研修を検討中。出雲でネットワークを作ろうという動きがある。松江NPOネットワークなどを参考にして、ネットワークの構築に力を入れていきたい。また、監事に関する研修を開いていきたい。現在の方針的には、しっかりガバナンスが出来ている団体を増やす目的で研修を開いていきたいと考えている。

5. 閉会